

脱炭素社会に向けたリサイクルの取り組み

2025年10月23日

テラレムグループ（株）

テラレムグループ（株） 経営企画本部 本部長補佐

兼 （株）市川環境エンジニアリング 取締役 コーポレート本部 本部長 小林 由枝

1. 会社紹介

(1) 企業概要

(2) 沿革

(3) 事業概要

2. 環境取組

(1) 環境配慮への取組

(2) リサイクルの取組

(3) 社会貢献活動

3. ISO14001

(1) 取得の目的

(2) 環境方針と実活動

1. 会社紹介

(1) 企業概要

(2) 沿革

(3) 事業概要

2. 環境取組

(1) 環境配慮への取組

(2) リサイクルの取組

(3) 社会貢献活動

3. ISO14001

(1) 取得の目的

(2) 環境方針と実活動

テラレムグループ株式会社

設立	2017年4月（グループ創業：1971年10月）
所在地	東京都中央区新川2-5-2
事業内容	グループ経営戦略策定・管理、それらに付帯する業務
資本金	1億円
従業員数	1,101名※
保有車両	378台※
取扱廃棄物	10万t（プラスチック5.3万t、食品廃棄物3.9万t）※

※グループ計（2023年6月1日～2024年5月31日、2024年5月末）

●主要子会社

 ニューエナジーふじみ野株式会社

 第一環境アクア株式会社

 バイオエナジー株式会社

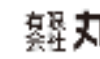
 手塚産業株式会社

 イー・ステージ株式会社

 特産エンジニアリング株式会社

 株式会社市川環境エンジニアリング

 千葉興産株式会社

 鯉丸十トラック運送店

 エム・エム・プラスチック株式会社

- 1970
- 1971 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 施行
- (株)市川環境エンジニアリング設立
- 1978 (株)市川環境エンジニアリング
行徳工場（資源再利用処理センター）を開設

1983 浄化槽法

1990 **IKC 株式会社市川環境エンジニアリング**

1992 (株)市川環境エンジニアリング
(鹿島)

特定有

1993 環境基

1995 容器包
(容器)

1997 イー・ス

1998 特産エン

三菱電

特定家

自治体

2000

2000 循環型

2001 食品循環資
(食品リサイクル法) 施行

2002 千葉興産(株)の株式取得

2003 東京都スーパーエコタウン事業として、バイオエナジー(株)を設立

2007 エム・エム・プラスチック(株)の増資引き受けにより資本参加
(2010年に子会社化)

2009 (株)エコライクひらつかを設立

(株)アクアの株式を取得



日本で初めて、廃棄物からRDF
(固形燃料)を生産するリサイ
クル型の中間処理プラントとして、
1986年に稼動を開始



生ごみから「メタンガス」を発生さ
せ、電気とガスを製造
日本で初めて、食品残さ由来のバイオガスの都市
ガス導管への注入・受入を実施。



エム・エム・プラスチック 株式会社



容器包装プラスチックからペレット
原料を製造。ペレットからパレット
製品を製造。

2010

2011 (株)エコファシリティ船橋を設立

2013 (株)エコライクみえを設立

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律
(小型家電リサイクル法) 施行

2014 (株)エコライクにのみやを設立

Bio フォレステーション(株)の第三者割当増資を引き受け

2016 DECCS 社 (DAI DONG ENVIRONMENT SOLUTIONS CO.,) 設立

アールツーソリューション(株)を設立

2017 グループの親会社となる(株)市川環境ホールディングス
(現：テラレムグループ(株))を設立

2019 (有)丸十トラック運送店の株式を取得

食品ロスの削減の推進に関する法律 (食品ロス削減推進法) 施行

ニューエナジーふじみ野(株)の増資引き受けにより資本参加

20

2020

2021

2022



テラレムグループ

ラテン語の地球や大地を意味する「Terra」と、
修復や救済を意味する「Remedium」を組
み合わせ、「地球環境に貢献する企業」を意
味する「テラレム (Terrarem)」に商号変更

(株)へ商号変更

子会社化

●企業理念

資源とひとを未来につなぐ

●環境方針

●基本理念

テラレムグループは、環境保全に注力しながら、循環経済への移行に向けて、多様な再生可能資源のエネルギー利用・原材料化・再製品化に取り組み、脱炭素社会・持続可能な社会の実現に貢献する事で、日本で最も存在感のある地球環境貢献企業グループを目指します。

●行動指針

1. 法令の遵守

環境関連法令を遵守し、安全かつ確実に業務を遂行します。

2. 環境保全への取り組み

環境リスクの低減、環境汚染の防止、気候変動への対応、生物多様性への配慮など、地球環境保全に貢献し、地域社会との共生を目指します。

3. 資源循環への取り組み

動脈産業と静脈産業の連携を通じて、廃棄物の発生抑制はもちろん、再生可能エネルギーの創出、原材料化・再製品化への取り組みを行います。

4. 環境教育・啓発活動

環境に配慮した行動が取れるように社内教育を充実させ、環境意識の向上に努めるとともに、全てのステークホルダーに対して環境保全活動を推進します。

5. 環境情報の公開等

環境方針をはじめ必要な情報の開示を行います。



1. 会社紹介

(1) 企業概要

(2) 沿革

(3) 事業概要

2. 環境取組

(1) 環境配慮への取組

(2) リサイクルの取組

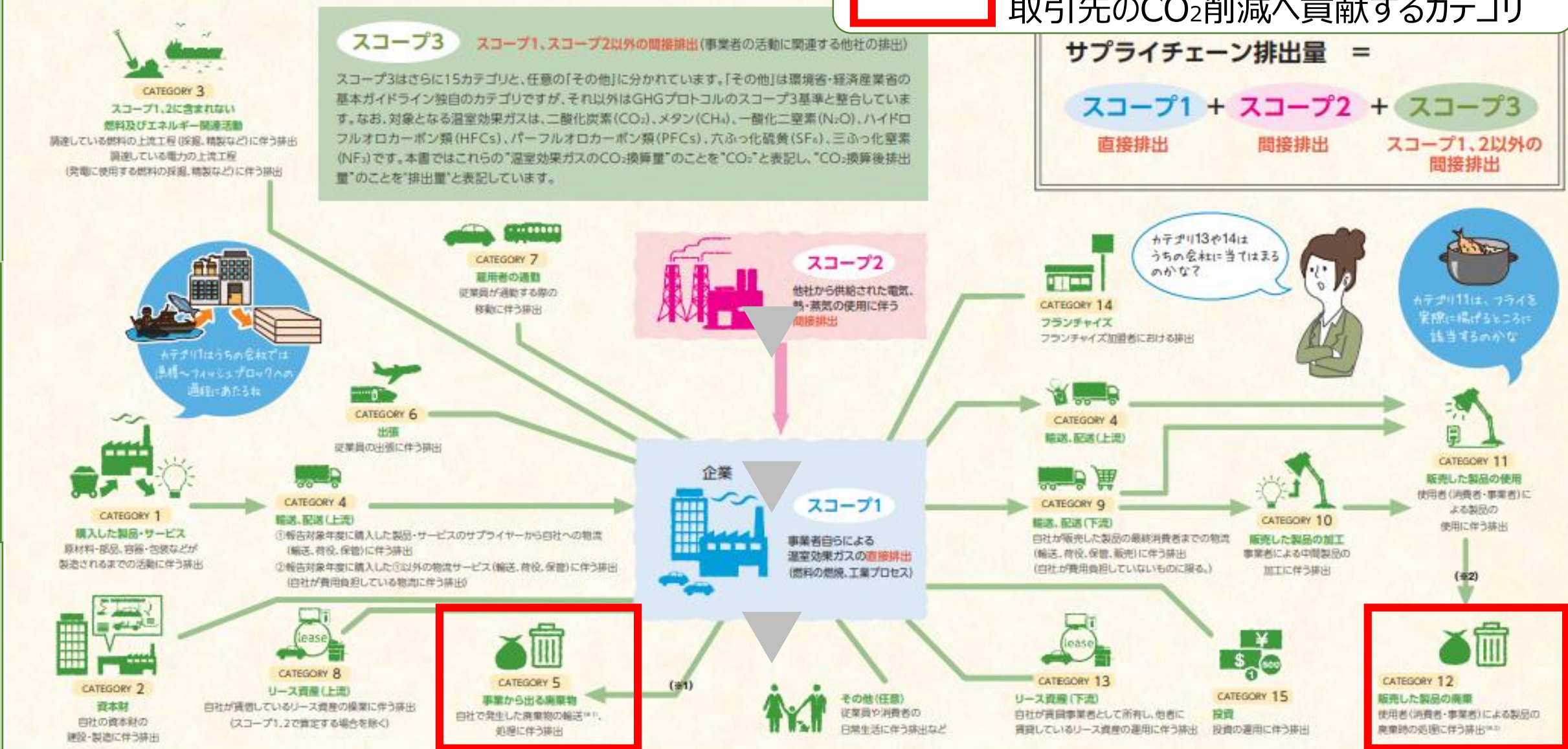
(3) 社会貢献活動

3. ISO14001

(1) 取得の目的

(2) 環境方針と実活動

取引先のCO₂削減へ貢献するカテゴリ



● CO₂削減に向けた取組と取引先への貢献

STEP 1 : 自社のCO₂総排出量（カテゴリ別）を把握



STEP 2 : CO₂排出量削減に向けた検討

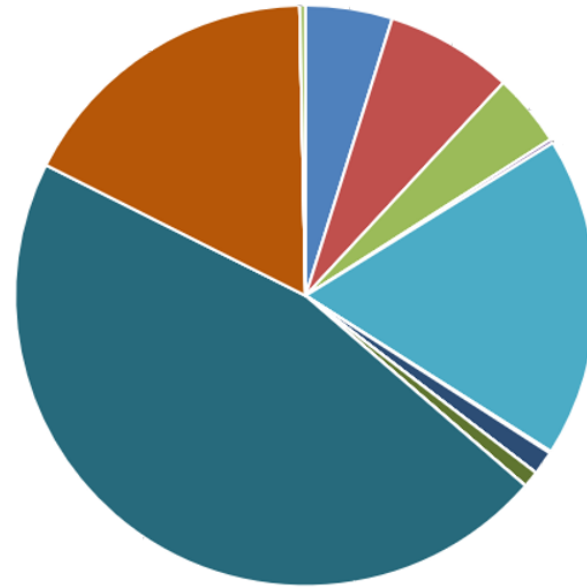
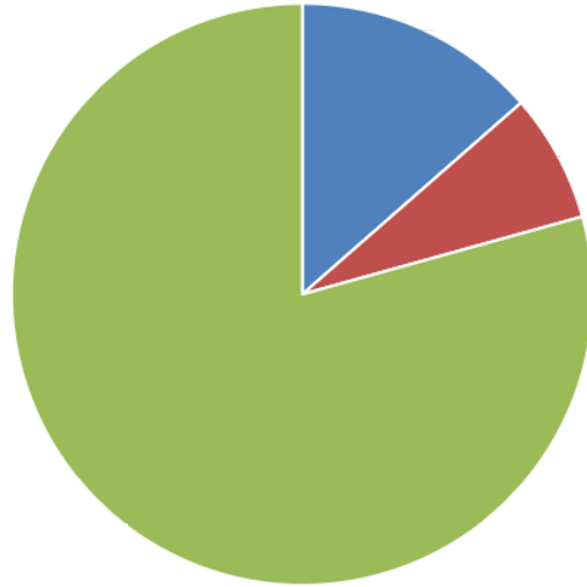


STEP 3 : 取組自社CO₂排出量削減の実施（見込み）



STEP 4 : 取引先へのCO₂排出量削減の貢献

(STEP1：自社のCO₂総排出量（カテゴリ別）を把握）



(STEP2：CO₂排出量削減に向けた取組み検討)

項目	主な要因
SCOPE1	車両用燃料使用
SCOPE2	電気使用
SCOPE3 (CAT1)	消耗品購入
SCOPE3 (CAT5)	自社廃棄物の処理
SCOPE3 (CAT11)	製品の使用
SCOPE3 (CAT12)	製品の廃棄



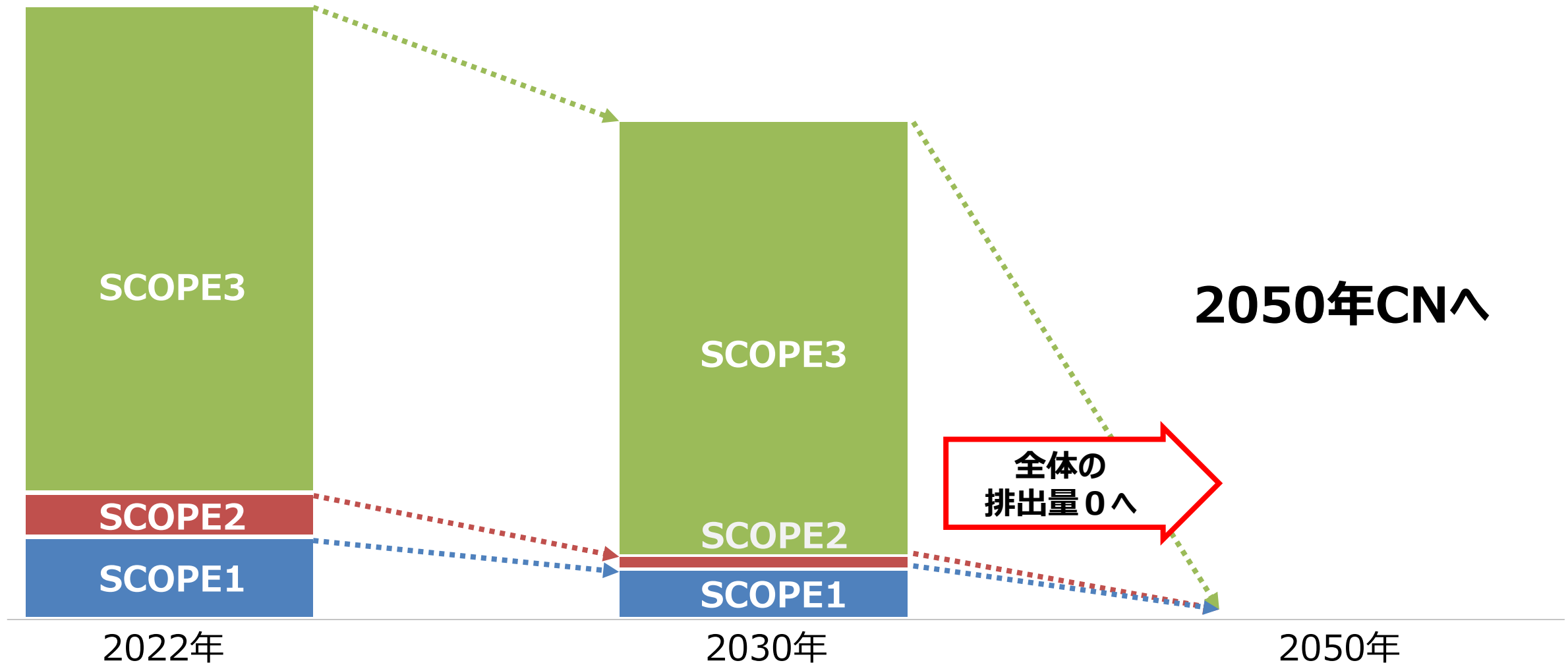
2. (1) 環境配慮への取組 (STEP3 : 自社CO₂排出量削減の見込み)

12

1
会社紹介

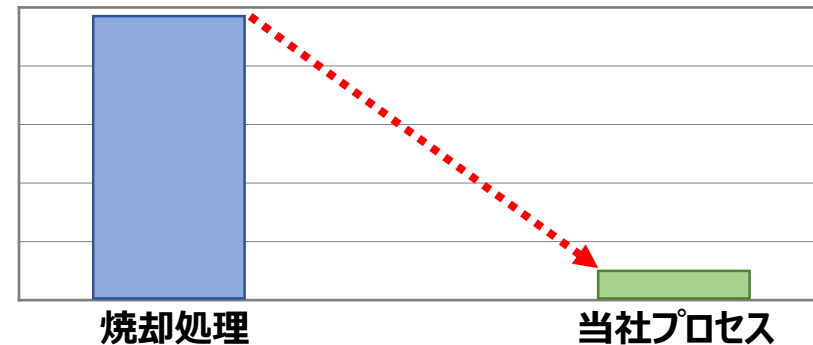
2
環境取組

3
ISO
14001

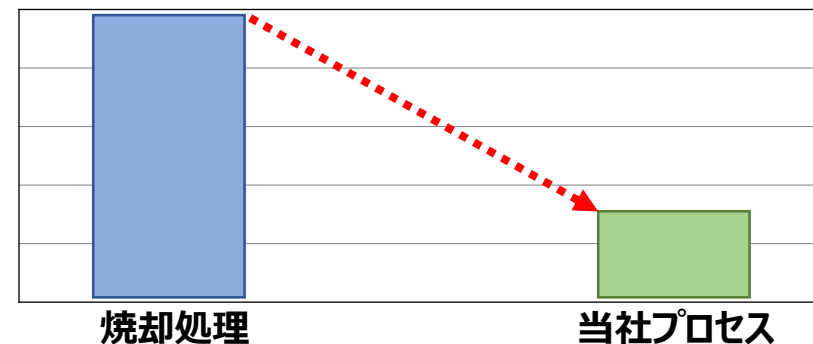




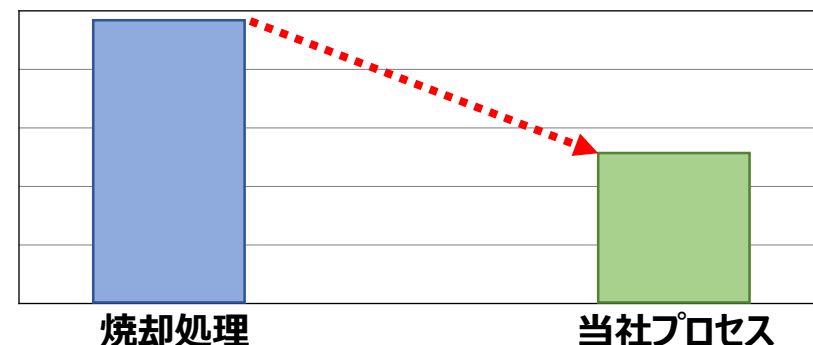
廃プラスチック類、紙くず、木くずなどを固めて
石炭の代替品となる固形燃料（RPF）を製造



食品廃棄物をメタン発酵させて発電



廃プラスチック類を原料としてペレットを製造
(自社内で再生ペレットの製造まで行っている)



当社グループ処理を通じて、大幅なCO₂削減に寄与

1. 会社紹介

- (1) 企業概要
- (2) 沿革
- (3) 事業概要

2. 環境取組

- (1) 環境配慮への取組
- (2) リサイクルの取組**
- (3) 社会貢献活動

3. ISO14001

- (1) 取得の目的
- (2) 環境方針と実活動

● アパレル業界から排出される保護用ビニール類のリサイクル



回収対象：納品時のハンガーカバー、ニット・カットソーなど包装プラスチック（透明PE）

参加企業：当社、センコーグループ（センコー商事、東京納品代行、アクロストランスポート）、豊通ケミプラス、ナクシス

協力企業：オンワード樫山、三陽商会、シップス

アパレル業界から排出される、アパレル商材の保護用ビニールカバーやニット・カットソーなど包装プラスチック（被服を保護するPEフィルムのカバー（以下、「ハンガーカバー」という。））のリサイクルについて、動脈産業・静脈産業が一体となって取り組み、再製品化スキームを実現しました。

● オフィスや商業施設などから排出される事業系プラスチックなどの再製品化



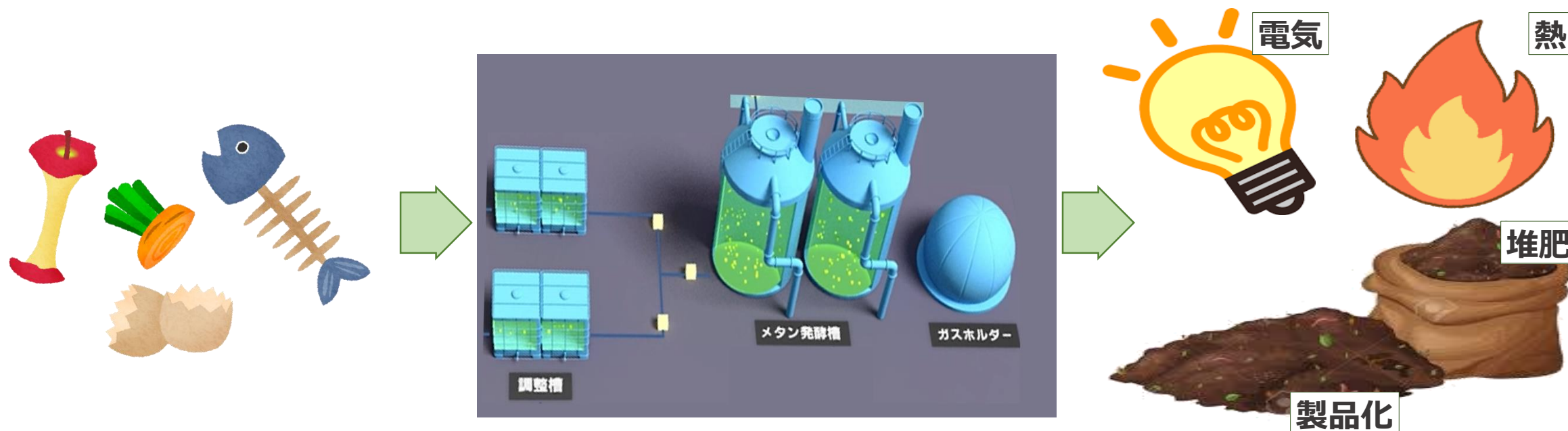
回収対象：オフィスや商業施設などから排出される事業系プラスチック（オフィスプラ）

参加企業：当社および当社グループ会社（市川環境エンジニアリング、エム・エム・プラスチック、都市環境エンジニアリング）

協力企業：三菱地所株式会社、三井不動産株式会社、東急不動産株式会社

マテリアルリサイクルが困難とされてきたオフィスプラは、サーマルリサイクルや焼却処理が主流となっていました。当社グループの強みを活かし、①排出・集積、②収集・運搬・梱包等、③複数のプラスチック素材の選別・洗浄と、再生材の製造を行い、リサイクル製品の製造まで行う事ができました。

●メタン発酵により発生した消化液を堆肥として活用



1. 会社紹介

(1) 企業概要

(2) 沿革

(3) 事業概要

2. 環境取組

(1) 環境配慮への取組

(2) リサイクルの取組

(3) 社会貢献活動

3. ISO14001

(1) 取得の目的

(2) 環境方針と実活動

地球温暖化対策の取組として、2011年より行ってきた“みどりのカーテン”を「平塚市みどりのカーテンコンテスト」に応募し、最優秀賞を受賞

- 年度：R4年度
- 部門：団体の部



移動体太陽光発電システム（ロジソーラー）を活用した車両のCO2排出量削減取組におけるNEDO受託事業に協力事業者として参加

- 設置台数：5台
- 設置車種：塵芥車、保冷車、ウイング車
- 走行地域：東京都、千葉県を中心とした関東県内
- 実証事業者：株式会社システック（鹿児島県鹿児島市／代表取締役 坂元 士郎）



自治体との連携を強化し、各種協定に加え、小学校での出前授業を定期的実施

- 24.03：東京都昭島市：可燃ごみ処理に関する協定
- 24.10：東京都墨田区：プラスチック資源の再商品化計画策定に係る協定
- 25.03：長野県上田市：緊急時における可燃ごみ処理に関する協定
- 25.03：長野県東御市：緊急時における可燃ごみ処理に関する協定
- 随時：千葉県内を中心に小学校での出前授業の実施



CO₂排出量の削減取組を中心に地域社会に貢献しています。

1. 会社紹介

(1) 企業概要

(2) 沿革

(3) 事業概要

2. 環境取組

(1) 環境配慮への取組

(2) 実績

(3) 社会貢献活動

3. ISO14001

(1) 取得の目的

(2) 環境方針と実活動

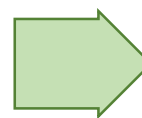


▼取得の履歴

- ・2003年11月 本社
- ・2009年11月 原木事業所
- ・2013年11月 東京支店
- ・2020年 9月 行徳工場

▼ISO14001取得のメリット（活用方法）

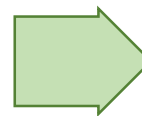
- ・組織強化とリスク管理
- ・継続的な改善



企業理念に基づいた
継続的な取組みの実施

▼主な目標設定（環境方針の内容に沿って設定）

- ・売上/利益の向上
（売上拡大が環境負荷低減を担う）
- ・労働環境の改善
（効率的な働き方を推奨し、無駄なエネルギー消費をなくす）
- ・環境汚染の防止
（排水/臭気管理,リサイクル率向上,RPF品質向上）



経営と一体化させ、
従業員が分かりやすい目標を設定
（環境方針にも反映）



組織全体が一つの考えのもと
継続的な企業価値向上を行っていくために活用

株式
会社

市川環境エンジニアリング

環境方針

株式会社市川環境エンジニアリングは、環境保全に注力しながら、循環経済への移行に向けて、多様な再生可能資源のエネルギー利用・原材料化・再製品化に取り組み、脱炭素社会・持続可能な社会の実現に貢献する事で、かけがえのない生命を育む地球環境の保全をトータルに考える地球環境貢献企業を目指します。

行動指針

1. 法令の遵守

環境関連法令を遵守し、安全かつ確実に業務を遂行します。

2. 地域社会の環境保全への取り組み

再生資源循環事業者として、地域社会との連携を図り、環境リスクの低減・環境汚染の防止、気候変動への対応、生物多様性への配慮など、地球環境保全に貢献し、地域社会との共生を目指します。

3. 資源循環への取り組み

動脈産業と静脈産業の連携を通じて、廃棄物の発生抑制はもちろん、再生可能エネルギーの創出、原材料化・再製品化への取り組みを行います。

4. 環境教育・啓発活動

環境に配慮した行動が取れるように社内教育を充実させ、環境意識の向上に努めるとともに、全てのステークホルダーに対して環境保全活動およびその継続的改善を推進します。

5. 環境情報の公開等

環境方針をはじめ必要な情報の開示を行います。

●企業理念 資源とひとを未来につなぐ

リサイクルの取組②③、社会貢献活動③

リサイクルの取組①②

社会貢献活動①③

1
会社紹介

2
環境取組

3
ISO
14001



各種リサイクルのご相談はテラレムグループまで
お気軽にご相談ください。



ご清聴ありがとうございました。

テラレムグループ(株) 経営企画本部 本部長補佐
兼 (株)市川環境エンジニアリング 取締役 コーポレート本部 本部長 小林 由枝